

外注化阻止・原発止めよう 全ての怒りを11・6へ



京葉構内業務外注化10・1実施を阻止！

偽装請負撤廃！ 外注化一
非正規化阻止へ動労千葉が
9・29～30ストを貫徹(京
葉車両センター)

10月5日、首都圏在住の呼び
かけ人会議を行いました。
集まつた呼びかけ人の共通し
た感想は「全国運動を立ち上げ
て本当に良かった」ということ
です。討論では、①あらためて
国鉄闘争の基軸性について、②
外注化阻止・非正規職撤廃・偽装

請負撤廃」の闘いを、動労千葉
を先頭とした全国運動の柱に据
えること、③9・11～9・19
反原発闘争のうねりを発展させ
る道は、福島の怒りと労働運動
の再生にあることを確認しまし
た。以下、呼びかけ人の発言の
要旨を掲載します。

(文責・事務局)

●田中康宏（動労千葉委員長）
動労千葉は、外注化・偽装
請負が社会に蔓延しているとい
う状況に対し、自分たちの職
場から闘いをやり抜こうとの
間、闘つてきました。その結果、
JR千葉支社が提案していた構
内運転業務外注化の10月1日実
施を阻止しました。

なぜここまでできたのか。外
注員をめぐる労使の攻防の中
で、動労千葉の働きかけで、対
象になった労働者が業務命令に
従わなかったからです。列車を
運転するというのは単に業務命
令ではない。本人が主体的
にやる気にならなければいけな
い。これは敵にとつても弱点で、
合理化を阻止する力は、結局、
現場の一人ひとりの中にある。

●中西五洲さん（元全日自労委員長）
山村ふささん（元全日教組書記次長）
新たな呼びかけ人

4・9政治和解を拒否し、解雇撤回をめざして闘い抜く被解雇者を支え、国鉄
1047名解雇回復闘争の勝利を勝ち取るために共に闘いましょう。

3・11大震災・原発「事故」以降、政府・資本は、震災解雇、復興「特区」という名
の外注化や民営化、非正規職化と合わせて労働運動破壊の攻撃をかけています。今こそ、
階級的な団結と労働組合を全国の労働者の情熱と力で作り上げていきましょう。

本山闘争34年の闘いは、資本・権力・御用第2組合幹部らの一体となった一人の解雇
に始まる「工場移転・首切り合理化・組合つぶし」攻撃との闘いの連続でした。そして
また、戦後労働運動の一翼を担つて総評左派とまで言われた全国金属労組が、生産性向
上運動や合理化の嵐に対抗できず、労働組合統一＝連合化の波に飲み込まれる中で、解
雇撤回をあくまで貫こうとする私たちを除名したのです。

しかし、私たちは「一人の首切りも許さない」原則を守り続け、毎日の会社門前での
就労闘争で団結を日々うち固めつつ、全国の仲間の力を信じて独自の支援陣形を作り上
げ、先達の闘いの歴史や教訓、現実に闘いぬいている多くの闘いに学びながら自らを励
まして闘いぬぎ、ついに解雇撤回・職場復帰を勝ち取りました。中曾根元首相の「戦後
政治の総決算」攻撃から続く新自由主義攻撃との闘いである国鉄闘争は、すべての労働
者の闘いでもあります。次は、国鉄闘争での勝利を全国の力で勝ち取りましょう。

●伊藤晃（日本近代史研究者）
外注化の話ですが、田中さん
の話を伺つてみると、動労千葉
としては、努力はしたけれども、
そういう複雑な問題ではないんだ
という印象でした。だけども複雑
な問題だと思うんですよ。
偽装請負は、具体的に社会的
に問題化されることが重要なん
ですが、それが行われないわけ

会報
国鉄闘争全国運動
国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第17号
2011年10月11日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇
撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8D会館内
Tel 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

●田中康宏（動労千葉委員長）
動労千葉は、外注化・偽装
請負が社会に蔓延しているとい
う状況に対し、自分たちの職
場から闘いをやり抜こうとの
間、闘つてきました。その結果、
JR千葉支社が提案していた構
内運転業務外注化の10月1日実
施を阻止しました。

なぜここまでできたのか。外
注員をめぐる労使の攻防の中
で、動労千葉の働きかけで、対
象になった労働者が業務命令に
従わなかったからです。列車を
運転するというのは単に業務命
令ではない。本人が主体的
にやる気にならなければいけな
い。これは敵にとつても弱点で、
合理化を阻止する力は、結局、
現場の一人ひとりの中にある。

●山村ふささん（元全日教組書記次長）
新たな呼びかけ人

4・9政治和解を拒否し、解雇撤回をめざして闘い抜く被解雇者を支え、国鉄
1047名解雇回復闘争の勝利を勝ち取るために共に闘いましょう。

3・11大震災・原発「事故」以降、政府・資本は、震災解雇、復興「特区」という名
の外注化や民営化、非正規職化と合わせて労働運動破壊の攻撃をかけています。今こそ、
階級的な団結と労働組合を全国の労働者の情熱と力で作り上げていきましょう。

本山闘争34年の闘いは、資本・権力・御用第2組合幹部らの一体となった一人の解雇
に始まる「工場移転・首切り合理化・組合つぶし」攻撃との闘いの連続でした。そして
また、戦後労働運動の一翼を担つて総評左派とまで言われた全国金属労組が、生産性向
上運動や合理化の嵐に対抗できず、労働組合統一＝連合化の波に飲み込まれる中で、解
雇撤回をあくまで貫こうとする私たちを除名したのです。

しかし、私たちは「一人の首切りも許さない」原則を守り続け、毎日の会社門前での
就労闘争で団結を日々うち固めつつ、全国の仲間の力を信じて独自の支援陣形を作り上
げ、先達の闘いの歴史や教訓、現実に闘いぬいている多くの闘いに学びながら自らを励
まして闘いぬぎ、ついに解雇撤回・職場復帰を勝ち取りました。中曾根元首相の「戦後
政治の総決算」攻撃から続く新自由主義攻撃との闘いである国鉄闘争は、すべての労働
者の闘いでもあります。次は、国鉄闘争での勝利を全国の力で勝ち取りましょう。

●伊藤晃（日本近代史研究者）
外注化の話ですが、田中さん
の話を伺つてみると、動労千葉
としては、努力はしたけれども、
そういう複雑な問題ではないんだ
という印象でした。だけども複雑
な問題だと思うんですよ。
偽装請負は、具体的に社会的
に問題化されることが重要なん
ですが、それが行われないわけ

(表面からの続き)

です。動労千葉の闘いは、偽装請負の問題を、運動によって表面化させるという意味で非常に重要であったと思います。

外注化を阻止するための職場の団結をつくり出すというのも複雑な問題です。どういう闘いが行われているか。具体的に示す必要があると思う。外注化の問題に取り組んできた動労千葉の闘いの教訓をまとめて、基本テキストにする必要があると思います。そういうことでいろんなところで運動のきっかけをつくる助けになると思います。原発を再開するイデオロギーは震災からの復興ですね、これもドンドン進んでいます。経団連の「復興・創生マスタープラン」。これだけ全面的にやられると大変なことです。

しかし、一つひとつ問題について、これに一つひとつ対抗する運動が現に起こっている。運動によってこの攻撃の本質が明らかにされる必要があるし、明らかにされる必要があります。このことは不可能ではないと思います。

それらの運動の集約として11月6日の集会もある、それ以降の闘争もあると思うんです。自分たちの運動が今の状況となるふうにかみ合いつあるのかという観点から、各地の報告をもらいたいと思います。その意味で私は非常に希望を持っています。

●高山俊吉(弁護士・憲法と人権の日弁連をめざす会代表)

実は9・19集会には日弁連の会長、事務総長が参加しています。